



「百億円企業の卵支援」制度に挑戦

八月二二日付の日本経済新聞記事によると、経済産業省は二〇二五年の税制改正で、規模の拡大を目指す中小企業を育成する税制を要望する。一〇〇億円以上の売上高を目指す中小企業の設備投資に対し、有利な税額控除を受けられるようにする。対象となる一〇〇億円企業は達成に向けた計画を国に提出して国が認定する仕組みなどを検討しているという。

要約はこのようである。当社はこの機会をチャンスととらえ、今までの事業のあり方を検討して百億円企業に挑戦する。期間は五カ年計画で、勝算は十分あると思っている。



代表取締役社長 寺河 駿

「医療特化型施設

MCホーム(仮称)開設
新規事業本部

悠遊社では従来の介護サービスに加えて、医療的な処置やリハビリ、看取りなどを行う医療特化型施設MCホーム(仮称)の運営を開始します。入居の対象として、退院後に自宅で生活するのが難しい方、脳血管疾患などの後遺症、神経性疾患等の重度の障害がある

方で、介護認定要介護3以上の方を対象としたサービスです。

少子化や核家族化により、在宅での介護や看取りは負担が大きいという現実が、このサービスが必要となった大きな要因で、家庭では難しい医療依存度の高い方への看護や訪問診療医との提携といったメデイカルに重点を置いたサービスです。



では、具体的なサービスとして「経管栄養(胃ろう等)・カテーテル管理・人工肛門(ストーマ)・在宅酸素療法(HOIT)・吸引・酸素吸入・点滴・抗生剤・鎮痛緩和ケア・看取り」など、実際のサービスとして可能なものや医療機関との連携も検討しています。

対応する疾患としては「難病(ALS、パーキンソン病など)・末期がん・精神疾患(うつ病、統合失調症など)・認知症」のほかケアが必要な多くの疾患に対応します。



実際には、特浴設備や各種設備の整っている「住宅型有料老人ホームひまわり」全二〇室個室(愛媛県松山市竹原町六一八-1 松山駅から約六五〇M)にて運営を開始します。



従来の高齢者施設に比べ医療特化型なので、病状が悪化しても転居や入院をすることなく、ご家族様が変わり手厚い看護を受けられることができます。担当看護師に加えて医療機関との連携がシームレスに行われることで、今後求められていく施設です。



英会話教室スタート

最近のニュースのように海外から続々と外国人スタッフがやってきて、同じ職場で同じように仕事をする場面が増えてきました。ある程度の会話が出来た方です。専門的な言葉はスムーズとは言えないまでも、コミュニケーションを取ることが難しく困るといことは有りませんが、日本人スタッフはに抵抗がある方も。そこで、七月一九日に、フィリピンから来社されたガルシヤアナリザイボさんのご厚意で社内英会話教室第一回が実施されました。



第一回ということでもまだ小学生の初めての英語の授業という感じでしたが、何事も第一歩を踏み出すことが大切で、それを継続することが出来るようになると思います。

立ち上げ時はフェイスブックのメッセージを使っての講習を行いました。参加が簡単なので、当面はこの方法で運営したいと思っています。

公用語として世界で一番使われている言語は英語で(人の数だと中国語)日本の第二言語として戦後教育にも取り入れられています。この機会にぜひ参加してみてください。

九月誕生日職員

福利厚生の一環として正社員10,000円・パートさん5,000円の誕生日お祝い金を支給いたします。

- G H あんど 山内 崇之 / G H あすなる 〇グエン ティホン / G H エーデルワイス 〇重川 奈津美 / 有料エーデルワイス 〇レィティバオ ミー / G H くれない 〇村上 美喜子 / パサナ ジョエル アミオン / ティサク 〇加地 正子 / G H たんぼぼ 〇高田 麻里 / G H よるこび 〇谷野 泰子 / 高嶋 純一 / 岡市 静良 / 有料よるこび 〇岸本 民子 / 小規模ゆうゆう 〇グエン ティトウイ / サ高住ゆうゆう 〇南江戸 〇武田 ゆかり / 小椋 裕樹 / G H 菜の花 〇秋山 純子 / 筒井 弘子 / ゆうゆう高松 〇藤本 健太 / デイゆうの季節 〇森下 美登里 / 今治訪問 〇大久保 玉美 / G H 新町 〇伊藤 明子 / G H 紅葉の里 おだ 〇中田 康子 / 泉 照美 / デイゆうゆう 〇中野 典子 / 有料ゆうゆう 〇新山 由加利 / G H ゆうゆう鴨川 〇中村 和雄 / G H ゆうゆう余戸 〇有間 和子 / 久保 眞佐代 / サ高住新居浜 〇鳥生 浩一 / 安井 裕亮 / 鈴木 淳子 / ゆうゆう針田 〇浅井 浩茂 / 小規模泉川 〇伊達 仁志 / 白石 卓 / 山口 久美代 / 猪川 康子 / サ高住ゆうゆう大洲 〇成松 福和 / 田内 菜千 / デイゆうゆう大洲 〇五藤 美順 / 高井 和幸 / G H よるこび大久 〇大野 和美 / サ高住ゆうゆう土居 〇曾我部 明美 / 押条 加代 / G H 市営野球場前 〇越野 真有華 / G H 優瑠里 〇山上 真紀 / 谷口 京介 / 優瑠里 ティ釜倉 〇原添 佳奈 / G H かざはや 〇福永 恵美 / G H 三木 〇宇野 律子 / G H 優輝 〇武智 達也 / 出向 T P 〇新開 正義 / 出向菜の花 〇喜井 知美

Happy Birthday



この絵は AI で作成

土居事業所は七年目を迎えています。月日が経つのは早い。毎日色んな出来事があり、良い経験をさせてもらっています。利用者の皆様も高齢化が進んでおり、その方のできる事をしたいと思っています。やはり一番の楽しみは食べる事だと思えます。七月という事もあり、夏の暑さを吹き飛ばしたいこう。という事でかき氷を楽しんでもらいました。さくらの真鍋さんに持ってきて頂いた三人がかりでないといけないような大きなかき氷機で作るかき氷は格別です。



後は踊ったり歌ったりと元気いっぱいでした。オリンピックもとても盛り上がりましたね。嬉しい思いや、負けて悔しい思いもありました。さくらスマイルの方でもオリンピックのかわいいキャラクターをモデルに(名前がフリージユ)というらしいですよ。



利用者様が協力して作成された壁画が素晴らしいと専ら評判になっていきます。また機会があればゆうゆう土居に見に来てくださいね。

私の今年の夏の目標は「一緒に甲子園へ行く事！」と言っても、我が家は高校球児ではない、娘ですが…。応援部のチアへ入り。去年は2回戦敗退。今年は決勝まで進みました。私も球場へ2回戦まででは応援に行きました。「甲子園へ行く時は、母も一緒に行かせていただきます。」と言いつつ続けたが、今年は1歩届かず…。夏の目標は来年へ持ち越されました。



「ミヤンマーから来社!!」
八月二七日にミヤンマーから新しいスタッフ五名が来社しました。このあと研修等を経て、それぞれ事業所へ配属されます。



私は、介護現場で働くようになり、四年目の職員です。色々な施設で働き、利用者様や職員と関わりを持つことで、現場でしか学べないことがたくさんありました。利用者様から厳しいお言葉や説教をされることもあり、へこむこともありましたが、笑顔でお礼を言われたり、仕事仲間から頼りにされたりすることで、やりがいもありました。



利用者様は足腰が弱く転倒リスクや食事時の咽や嚥下状態に気を付けたら、認知機能の低下による異食行為やその他の危険行為防止のために、目配り気配りの大切さを学びました。

まだまだ認知症や介護についての知識を学ばないといけないので、これからも頑張りたいです。

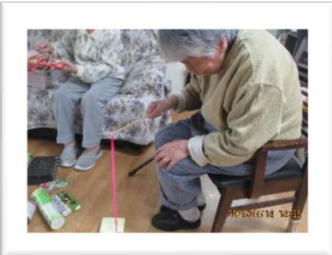


グループホームで働くようになり、より一層コミュニケーションの難しさ、大切さを実感しました。利用者様の尊厳を守り、安全で安心な喜ばれる生活、利用者様のお話をよく聞き、気持ちを理解することを目標にこれからも頑張っていこうと思います。

地域の方にお誘いいただき、施設の近くにある岩田神社にて茅の輪くぐりに参加しました。



利用者様とご家族が一緒にお参りし、心身を清めて厄災を払い、無病息災を祈願する行事という事で真剣な表情で取り組まれました。地域の方が丁寧に作法を教えて下さり、無事に茅の輪くぐりを終えた利用者様は晴れ晴れとした笑顔をみせてくれました。神社には、周辺の幼稚園の子供たちも集まっており、大人も子供も共に歌を歌いながら交流する事ができ心温まる時間を過ごす事ができました。



施設内では、暑い日が続いたため室内でも楽しめるレクリエーションを行っています。今回は割り箸で釣り竿を作り、マグネットを付けてお菓子を釣り上げるゲームを皆で楽しみました。



グループホームで働くようになり、より一層コミュニケーションの難しさ、大切さを実感しました。利用者様の尊厳を守り、安全で安心な喜ばれる生活、利用者様のお話をよく聞き、気持ちを理解することを目標にこれからも頑張っていこうと思います。

今回は、八幡浜市大黒町(だいくくまち)にあるbukucafe & Bookを紹介しました。お店は二階にあり、階段の所には何とも味のあるフードメニュー表がお出迎え。



そして二階に上がり店内へ。白とグレーをベースに、落ち着いたリラックスできる雰囲気。本もたくさんあり、まさしくCafe & Book.



料理もボリユーミーで美味しく、手作りスイーツも用意されています。



皆さん、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。
■アクセス 八幡浜市大黒町一、一四六〇一七七一 ■営業時間 八時～一九時/金曜一七時三〇〇時/定休日・火曜日

「猛暑」という言葉が耳慣れしてきましたが、今年の八月は晴天の日が多く雨の日は少なく特に暑さを感じたのではないかと思います。古い施設等においてはエアコンの故障や不調などで暑さの中での利用者さまへの対応、加えて地震や台風等、自然の脅威への対応と、例年以上にご苦労頂いた夏でした。

さて、最近のトレンドワードでAIという言葉が耳にするとありますが、これは(Artificial Intelligence)の略で「人工知能」に人が行う色々な事を代行させようというもので、実は古くからある技術でその精度が昨今著しく高くなり小型化ができるようになりました。PCで気がるに利用する事もできるようになり、記事の編集にも利用しています。一面下部のウサギのイラストをAIに描かす時間は数分です。実はAI職員がいて、何度か投稿が掲載されていますが、やはり人が経験したり考えたりした記事のような温かさはありませんので、ご投稿よろしくお願いたします。



発行 株式会社悠遊社
編集 広報担当
連絡先 愛媛県松山市余戸南 二、二四、三十八
電話 〇八九九六五一九九〇
連絡先 koho@vivyusya.co.jp
配布 毎月一日(基準日)